

お知らせ

2026 年度日本化学会フェロー候補者の募集

日本化学会では、化学・化学技術関連分野の学術または教育あるいは産業の発展・普及・振興および本会の発展に顕著な貢献があった会員に対し、その功績をたたえ、「日本化学会フェロー」の称号を授与し、本会のさらなる発展に積極的に寄与していただくことを目的として、「日本化学会フェロー制度」を設置しております。

つきましては下記事項をご参照、ご理解の上、候補者をご推薦下さいますようお願い申し上げます。

(1) フェローの役割

フェローを授与された者には、その称号を栄誉として、それぞれの分野でのさらなる貢献により本会の発展へ寄与することが期待される。

① 本会への助言

② 本会が推薦する公的機関および公益団体の委員等への就任

③ 本会イベントおよび委員会等への貢献

(例) 優秀発表表彰審査員(春季年会、化学フェスタ等)、機関誌依頼原稿のご執筆等

(2) 候補者の資格

候補者は、原則として本会に 10 年以上在籍する個人正会員または教育会員で、各号のいずれかに該当する者とする。ただし、会長が認めた場合はこの限りではない。

① 化学・化学技術関連分野の学術または教育あるいは産業の発展・普及・振興等に顕著な貢献がある者

② 社会または本会の発展に特に顕著な貢献がある者

(3) 推薦方法

フェロー候補者の推薦は下記のいずれかによるものとし、所定の用紙により会長宛てに提出する。

① フェローからの推薦

② 個人正会員または教育会員 3 名以上の共同推薦

③ 本会の組織[運営会議・部門・委員会・支部・部会・ディビジョン等]からの推薦

(4) 注意事項

推薦にあたっては、既名誉会員および既フェローの方々と重複しないようご留意下さい。

なお、各一覧はご逝去された方および退会された方は削除されております。

(5) 推薦締切日

2026 年 9 月 30 日(水) [必着]

(6) 推薦方法・提出先

候補者を推薦される方は、下記本会ホームページより所定の推薦用紙をダウンロードの上、電子ファイルを下記係宛てに期日までにご提出下さい。

日本化学会総務部「日本化学会フェロー候補者推薦」係

E-mail: soumu@chemistry.or.jp 電話: (03) 3292-6161

URL: <https://www.chemistry.or.jp/news/information/2026-7.html>

名誉会員一覧

注: 2026 年 6 月 19 日現在 (五十音順・敬称略)

【特別名誉会員】常陸宮正仁親王殿下

【邦 人】(五十音順)

相田 卓三	天野 浩	飯島 澄男	伊勢 典夫	岩澤 康裕	岩村 秀	大村 智	岡崎 廉治
岡本 佳男	小川 智也	川合 眞紀	北川 進	北原 武	國武 豊喜	侯 召民	小林 喜光
榊原 定征	澤本 光男	柴崎 正勝	白川 英樹	新海 征治	菅 裕明	菅 宏	鈴木 昭憲
鈴木 章	鈴木 啓介	瀬谷 博道	碓合 憲三	園田 昇	竜田 邦明	巽 和行	田中 耕一
玉尾 皓平	十倉 好紀	長澤 寛道	長野 哲雄	西川 恵子	野依 良治	平間 正博	廣田 榮治
福住 俊一	藤嶋 昭	藤田 誠	細野 秀雄	丸岡 啓二	御園生 誠	宮坂 力	村橋 俊一
山寺 秀雄	山本 尚	吉田 久美	吉野 彰				

【外 国 人】(アルファベット順)

ALPER, Howard (カナダ)

BAI, Chunli (中国)

COREY, Elias James (アメリカ)

ERKER, Gerhard (ドイツ)

FLEMING, Graham R. (アメリカ)

HOFFMANN, Roald (アメリカ)

LEE, Yuan T. (台湾)

LEHN, Jean-Marie (フランス)

SEEBACH, Dieter (スイス)

【合計 62 名 (邦人 53 名, 外国人 9 名)】

日本化学会フェロー一覧

注：2026年6月19日現在（五十音順・敬称略）

相澤 益男	赤木 和夫	赤阪 健	足立 吟也	阿部 正彦	蟻川 芳子	池田 富樹	石井 康敬
市村慎二郎	伊藤 卓	伊藤 翼	井上 伸昭	井上 晴夫	今中 忠行	今成 眞	入江 正浩
植村 榮	魚崎 浩平	歌川 晶子	梅澤 喜夫	大川 尚士	大倉 一郎	太田 信廣	太田 博道
大坪 徹夫	大寺 純蔵	大橋 武久	大橋 裕二	岡田 茜	岡田 至	岡本 正義	荻野 和子
荻野 博	尾崎 幸洋	尾嶋 正治	小尾 欣一	角五 正弘	柏 典夫	香月 義弘	門磨 義仁
金子 克美	鎌田 正裕	岸本 泰志	吉祥 瑞枝	吉良 満夫	楠本 正一	國友哲之輔	栗原 和枝
栗原 優	小泉 英明	後藤 達平	小林 四郎	小林 稔明	小林 長夫	小松 紘一	齊藤 幸一
斎藤 清機	坂入 実	坂本 一民	佐々木政子	佐々木陽一	佐藤 忠久	眞田 信一	塩入 孝之
四方 和夫	下井 守	東海林恵子	城田 靖彦	新海 征治	杉浦 正治	相馬 芳枝	曾我 直弘
高梨 賢英	高橋 成年	竹原善一郎	田島 慶三	多田 啓司	竜田 邦明	谷口 功	千葉 泰久
辻井 薫	寺本 和雄	寺本 武郎	徳丸 克己	富岡 秀雄	富永 健	中井 武	永瀬 茂
中野 博夫	永原 肇	中村 栄一	中村 聡	奈良坂紘一	丹伊田 敏	蟻川 洋一	二瓶 好正
長谷川 正	早川 芳宏	原口 紘丞	原田 宣之	平尾 公彦	平野 茂夫	平間 正博	府川伊三郎
福井 寛	福岡 伸典	福田 豊	古舘 信生	保坂 宏和	細矢 治夫	前田 修一	眞木 隆夫
正本 順三	増田 俊夫	増原 宏	松崎 徳雄	松原 静郎	松本 伸一	南 努	宮下 正昭
宗像 恵	宗像 誠二	村井 章夫	諸岡 良彦	山岸 皓彦	山添 昇	山近 洋	山辺 正顕
山本 孝二	山本 嘉則	吉野 彰	吉村忠与志	吉村 典昭	渡辺 正		

【合計 134 名】

吉野彰研究助成 2026 年度研究テーマ募集のお知らせ

吉野彰研究助成委員会 委員長 澤本光男

リチウムイオン電池開発における革新的な功績により 2013 年度に The Global Energy Prize (2002 年にロシアで創設されたエネルギー分野のノーベル賞といわれる最も権威ある賞) を受賞された吉野 彰 氏 (旭化成株式会社, 日本化学会名誉会員) が, その報奨金をエネルギー, 環境, 資源分野の研究活動の活性化のために有効に使いたいとの思いから公益社団法人日本化学会 (以下「本会」という) に寄附され, その基金を基に「吉野彰研究助成事業 (以下「本事業」という)」が平成 26 年度に創設されました。

本事業は, 「エネルギー, 環境, 資源」の分野で将来の大きな技術革新につながるシーズ創出を目指した研究に対して研究費の助成を行うもので, 本会の産学連携部門の下に設置された吉野彰研究助成委員会が, 本事業の運営を担っています。研究助成の対象となる研究テーマは毎年設定され, 第 13 回目となる今年度の研究テーマは, 『Na イオンの炭素材料への挿入・脱離反応機構の解明』(予定) です。奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。詳細は, 本会ウェブサイトの吉野彰研究助成 (下記 URL) の募集要領でご確認下さい。

※募集の概要は以下のとおりですがテーマは変更される可能性がありますので, ウェブサイトにて確認して下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/activity/grant/index.html>

1. 2026 年度の助成対象研究テーマ

『Na イオンの炭素材料への挿入・脱離反応機構の解明』

2. 申請者

年齢, 個人/グループ, 所属機関 (産学) は問わないが, 応募時点で本会の個人会員である者。

3. 助成金額, 件数および研究実施期間

助成金額は 200 万円/件, 件数は毎年最大 1 件, 研究実施期間は原則として助成金交付日から 2 年間。

4. 応募方法

吉野彰研究助成 WEB サイトの所定申請書に必要事項を記入し, 本会事務局宛に電子メールで提出。

受付期間: 2026 年 8 月 1 日~9 月 30 日

5. 選考および通知

本会で所定の審査・選考を経て決定し, 申請者に電子メールにて通知 (2027 年 1 月中を予定)。

6. 助成金の交付

2027 年 4 月以降に交付。

7. 研究成果の報告

助成金交付日から 1 年を経過したとき, および研究が完了したとき, その 30 日以内に所定の様式に従い本会に成果報告書を提出。

【申請書の送付先・問合せ先】

公益社団法人 日本化学会 企画部 吉野彰研究助成 係
E-mail: y-josei@chemistry.or.jp

日本化学会秋季事業 第16回 CSJ 化学フェスタ 2026 プログラム公開, 参加登録のご案内

化学フェスタ実行委員会

2026年10月20日(火)~22日(木), 東京都江戸川区タワーホール船堀において“日本化学会秋季事業 第16回 CSJ 化学フェスタ 2026”を開催します。日本化学会秋季事業として2011年にスタートしたCSJ化学フェスタも今年で第16回を迎え, 「産学官の先端研究者と議論し交流できる場」, 「最新の研究や技術開発動向を把握し議論できる場」として好評をいただき, また公開企画の参加者も年々増え, 「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」を目的とした日本化学会独自の特長あるイベントとして定着しています。今回も, より魅力的な企画, 驚きの企画, 参加して良かったと思っただけの企画を準備しています。プログラムを8月3日にウェブサイト公開し, 参加登録の受付を開始します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会 期	2026年10月20日(火)~22日(木)
会 場	東京都江戸川区タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
実行委員長	加藤隆史 (信州大学/岡山大学/東京大学名誉), 山田泰司 (花王)
重要な日程	プログラム公開 (Web) 8月3日 早期参加申込期間 8月3日~9月9日 通常参加申込期間 10月1日~会期当日 Web 予稿集公開 9月24日
問合せ先	日本化学会 企画部 矢部・田中・久後・河瀬 E-mail: festa@chemistry.or.jp
ウェブサイト	https://festa.csj.jp/2026/

日本化学会第107春季年会(2027)のお知らせ

第107春季年会実行委員会

春季年会は, 化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして, およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり, その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場です。第107春季年会(2027)は, 2027年3月23日(火)より4日間にわたり開催します。東京理科大学 野田キャンパスでの実施を予定しております。最新情報は春季年会のウェブサイト (<https://www.chemistry.or.jp/event/conference/index.html>) にて随時公開していきますので, そちらでご覧下さい。本号ではアカデミックプログラムでの発表募集に先立ち, シンポジウムの「特別企画」, 「コラボレーション企画」, アカデミックプログラムの特別講演である「外国人の特別講演」, 「若い世代の特別講演」の募集についてご案内します。

主 催	公益社団法人 日本化学会
共 催	東京理科大学
会 期	2027年3月23日(火)~26日(金)
会 場	東京理科大学 野田キャンパス
実行委員長	郡司 天博 (東京理科大学創域理工学部・教授)
内容 (予定)	会長講演・表彰式・展示会 アカデミックプログラム ・受賞講演, 外国人の特別講演, 若い世代の特別講演 ・口頭A講演, 口頭B講演, ポスター シンポジウム ・イノベーション共創プログラム, 中長期テーマシンポジウム, アジア国際シンポジウム, 特別企画 併催シンポジウム ・会長講演, 表彰式, 市民公開講座, 実験教室, コラボレーション企画, 本会委員会主催シンポジウム
重要な日程	講演申込期間 2026年11月2日~11月26日 早期参加登録受付期間 2026年11月2日~2027年2月26日 プログラム公開日 2027年1月21日 予稿集発行日 2027年3月9日
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp URL: https://www.chemistry.or.jp/event/conference/index.html

各種企画の募集

通常の研究発表の募集に先立ち、以下を募集します。詳細な条件や申込書式等は春季年会のウェブサイトにてご確認ください。

募集するシンポジウムおよび特別講演

1. 特別企画
2. コラボレーション企画
3. 外国人の特別講演 候補者
4. 若い世代の特別講演 候補者

締切 2026 年 9 月 4 日 締切厳守

応募方法 春季年会ウェブサイトにて要項をご確認いただき、応募用ファイルにご記入の上、フォームよりご応募下さい。

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

アカデミックプログラムで発表予定の方へ

アカデミックプログラムの口頭A講演、口頭B講演、ポスターの申込および登壇資格は、本会の個人の会員に限り

ます。
発表予定で未入会の方は、お早めに当会ウェブサイト (<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) よりご入会の手続きをお願いします。入会手続きに関するお問合せ先は、下記のとおりです。

問合せ先 日本化学会 総務部 会員グループ

E-mail: member-support@chemistry.or.jp



10 月 23 日は化学の日 「2026 年版缶バッジ」デザインの募集

日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会は毎年 10 月 23 日を「化学の日」、その日を含む 1 週間を「化学週間」と決め、様々な活動を行っています。さらに多くの皆様に「化学の日」に参加していただくことを目的に、2026 年版「缶バッジのデザイン」を募集することになりました。ふるってご応募下さい。

■応募資格 小学生以上なら、どなたでも応募できます。
(1 人 1 点)

■応募締切 2026 年 10 月 23 日(金)化学の日必着

■応募方法 応募要領に従って作品を制作し、応募フォームよりご提出下さい。

(1) 応募フォーム

指定の応募用紙 (word ファイル) と作品 (JPG ファイル 2 MB 以内、解像度 350 dpi、可能ならば illustrator データ) を送付下さい。応募用紙に直接描いたもの (手描き) をスキャンしてアップロードいただいても結構です。応募用紙、作品ともに A4 用紙 1 枚に収めて下さい。

(2) 団体応募

学校単位等でのお申し込みの場合は団体申込用紙をご利用の上、フォームから投稿あるいは CD-ROM に保存しご郵送下さい。フォームから投稿の場合は団体応募の用紙を E-mail にてご提出下さい。郵送の場合は、申込用紙、作品を CD-ROM にデータ保存の上、締切日までに事務局宛に送付下さい。紙での作品応募は受付できません。

■応募用紙について

日本化学会ウェブサイトの化学の日のページ「化学の日・缶バッジデザイン募集」から下記 2 点の指定用紙をダウンロードして下さい。

① 応募用紙

- ・氏名、住所、電話番号、E-mail アドレスなどを記入して下さい。

② デザイン画用紙

- ・用紙下部にある該当部門に○印をつけ、氏名、作品コンセプトを記載して下さい。
- ・デザインには下記 3 つの事項を必ず盛り込んで下さい。

1. 10 月 23 日

2. 化学の日

3. アボガドロ定数 = $6.02 \times 10^{23} \text{ mol}^{-1}$

■作品応募について

① デザイン画用紙を縦長に使用し、カラーで作成して下さい。画材は自由です。直径約 38 mm の円形に縮小されることを考慮し、また、外円 (点線) 部まで色付けし作図して下さい。

② PC を使ってデザインされた場合はカラーコード何う場合がございしますので、各自カラーコードをお控え下さい。

■選考方法

日本化学会の 2026 年版缶バッジデザイン選考委員会 (委員長・玉尾皓平 日本化学会元会長) により決定します。

■結果発表

2026 年 12 月 (予定)。日本化学会ウェブサイト上で発表いたします。

■採用作品および賞

最優秀賞 (1 点) 3 万円 (缶バッジとして採用)、優秀賞 (1 点) 1 万円、小・中・高校生特別賞 (3 点) 5,000 円分の amazon ギフトカード

■応募についての注意

1. 応募作品は未発表の作品とします。
2. 採用作品は使用の際に若干変更を行う場合があります。
3. 採用作品に関する著作権および意匠・商標出願、登録等のすべての権利は日本化学会に帰属します。
4. 応募された作品は返却いたしません。
5. 提供いただいた個人情報は日本化学会が管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。

6. 日本化学会は受領した作品の管理について万全の注意を払いますが、天災、不慮の事故などによる作品の不達、紛失、破損については一切責任を負いません。

応募・問合先

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
公益社団法人 日本化学会
「缶バッジデザイン事務局」
E-mail: pr@chemistry.or.jp

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2026 の募集

有機化学若手育成部会

日本の有機合成化学分野における若手研究者の独創性を喚起し、我が国の優秀な人材を育成することを目指して設立された賞です。有機合成化学分野において優れた業績をあげ今後の発展が期待される満40歳未満の若手研究者を表彰します。つきましては下記事項をご参照の上、ご応募下さいますようお願い申し上げます。

- (1) 対象分野 有機合成化学およびその関連分野
- (2) 応募期間 2026年6月1日(月)～8月20日(木)
- (3) 応募資格
 - ・国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2026年4月1日の時点で満40歳未満の研究者。なお、ライフイベント（出産・育児・介護）により研究を中断（休職）した場合、その期間に相当する月数を年齢制限の上限から延長する。
 - ・国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究を対象とする。
 - ・各賞（BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞）の受賞経歴は問わない。
- (4) 表彰
 - ・『Chemist Award BCA』：記念品の授与、ウェブサイト、関連専門誌等での発表。
 - ・『Lectureship Award MBLA』：日本化学会有機化学若手育成部会共催シンポジウム（札幌、仙台、福岡のいずれか）での研究内容の発表および表彰式、海外の著名大学および研究機関における講演（旅費支給、上限あり）、ウェブサイト、関連専門誌等での発表。
- (5) 応募書類 研究概要（A4用紙2枚以内）、論文リスト（選考の対象となる研究に関連したもの）、推薦状（PDF形式）、主要論文（5報）のPDF
- (6) 応募詳細 URL : https://ocyrd.csj.jp/bca_mbla/apply/
- (7) 選考方法
 - ・BCA（数名）：選考委員による書類選考の上、決定する。
 - ・MBLA（1名）：選考委員による英語での面接選考（12月19日(土) オンライン開催予定）を行い、英語によるプレゼンテーション力、アピール度を考慮し、厳正なる審査の上、決定する。

お問い合わせ先：日本化学会 有機化学若手育成部会「BCA/MBLA」事務局
E-mail: ocyrd@chemistry.or.jp

会員委員会からのお知らせ

〔日本化学会への入会勧誘のお願い〕

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

〔会員訃報のお知らせ：2026/4/16-2026/5/15〕

5名の方の訃報に接しました。本会はこちらに謹んで哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りいたします。

植村満佐也 大野 明 片岡 隆博 榎 雄二 村田 一郎

化学だいすきクラブ事業醸金者ご芳名

(令和8年5月16日～6月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○30,000円 野村 正文

化学遺産事業醸金者ご芳名

(令和8年5月16日～6月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○10,000円まで 菅原 駿吾

「化学振興」活動醸金者ご芳名

(令和8年5月16日～6月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○30,000円 野村 正文

○5,000円まで 井口 一成 菅原 駿吾

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第74巻第8号)

ヘッドライン: ユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」の化学

その他に, [実験の広場], [新・講座] など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

〔個人〕

- 1) 日本化学会会員の方で, 「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は 5,400円 (年額) をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合わせフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

- ① [お問い合わせ内容の種類 - Subjects]: 「全般について」を選択
② [お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-Subjects]:

「【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

- ③ [追加購読誌 - Journal Subscriptions]: 「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

- 2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は, 教育会員 (年間会費 9,000円) として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が 4,800円です。入会申込は, 当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) から行って下さい。

〔団体〕

学校, 図書館, 官公庁等, 団体として購読することもできます。公共会員 (年間 9,000円) に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。
請求先: 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

日本化学会総務部会員 G

電話 (03) 3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: member-support@chemistry.or.jp